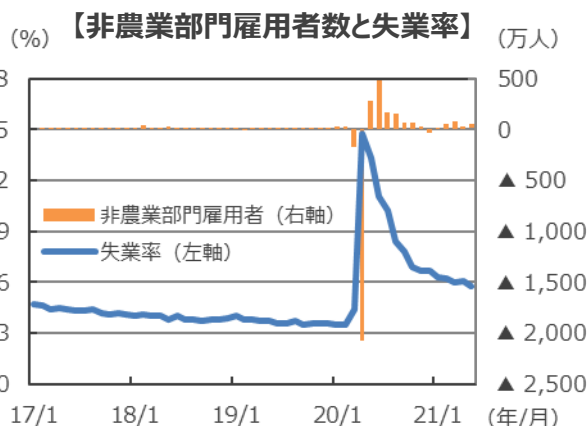


今日のトピック 米雇用統計で雇用者数は56万人増 堅調な回復を好感し株価は上昇

ポイント1 雇用者数は56万人増 失業率は5.8%に低下

- 米労働省が6月4日に発表した21年5月の雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月から56万人増加しました。68万人程度の増加を見込んでいた市場予想を小幅に下回ったものの、おおむね想定の範囲内の結果でした。
- 失業率は5.8%と前月（6.1%）から低下しました。米国の労働市場は堅調な回復を続けています。



(注) データは2017年1月～2021年5月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 今後も雇用回復継続へ 回復阻害要因も解消に向かう

- 米国ではワクチン接種が進み、経済再開も順調です。バイデン政権による大型景気対策の効果もあらわれてきています。こうしたことから今後も雇用の回復は続く見えています。
- 対面サービス業や学校の再開が完全ではないことや、手厚い失業給付などが雇用増加を妨げる要因として指摘されていますが、こちらも今後は徐々に解消に向かうと見られます。

【NYダウと米10年国債利回り】



(注) データは2019年1月1日～2021年6月4日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 経済再開に伴い株高継続へ

- 4日の米国株式市場で、NYダウは0.5%上昇し過去最高値に近づきました。堅調な景気、企業業績や、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和の早期縮小観測が落ち着いていることが株高要因となっています。
- 今後もワクチン接種による感染の落ち着きや、経済再開の動きが続くことによって景気や企業業績が回復するに従い、株式市場も上昇基調を維持すると見えています。リスクとしては、経済再開の本格化によって早期の金融緩和縮小が改めて意識されることなどが挙げられます。

ここもチェック! 2021年5月21日 米1-3月期一株当たり利益は大幅上方修正 2021年5月12日 ダイバージェンスからコンバージェンスへ (吉川レポート)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。